

今日のキーワード モディ首相がフランス、ドイツを訪問(インド)

モディ首相は、4月9日から13日までフランス、ドイツを訪問し、その後カナダを訪問する予定です。首相就任後、初となる欧州訪問の主なねらいは、製造業をインドに誘致することです。モディ首相は、これまで日本や米国などを訪問し、企業誘致やインフラ投資への支援で成果を上げており、今回もモディ首相の“トップセールス”が注目されます。

ポイント1 産業見本市でインド進出のメリットをアピール 経済成長を高め雇用創出

- モディ首相は、約320社が参加したドイツのハノーバーの産業見本市で、インフラを整備していくことや税制に急な変更がないことなど、企業にフレンドリーな投資環境を目指していると訴えました。また、見本市にはメルケル首相と共に参加することで、ドイツ政府と親密な関係にあることも印象づけました。
- 製造業の投資を促すスローガン「メイク・イン・インド(インドで作ろう)」では、経済成長を高めて若者の雇用を創出し、とりわけ農村に製造業を定着させて貧富の格差を縮小することを目指しています。

ポイント2 技術やノウハウの移転にも期待 フランスには航空技術の支援を要請

- モディ首相は、ドイツで鉄道、自動車メーカーのトップなどと個別に面会しました。モディ首相は、製造業を中心として多くの企業がインドへ進出し、高い技術やノウハウがインドの若者へ伝わることを希望しています。
- フランスでは、エアバス社の工場などを見学し、航空技術での支援をとりつけました。合弁会社の設立などにより、航空機やヘリコプターの製造が見込まれます。



今後の展開 投資環境の整備により、企業による投資や進出は一層拡大する見込み

■ 地方政府レベルでも「モディノミクス」は前進

4月8日にインド北部のラジャスタン州は、昨年の日印首脳会談での合意に基づき、日本企業を対象とした工業団地を創設することを発表しました。中央政府と地方政府の連携が図られることで「モディノミクス」は前進しています。

■ 投資環境の整備が投資拡大のカギ

モディ首相は、主要国で投資の誘致活動を積極的に行っており、インドは製造業の拠点として世界で注目を集めています。今後は、インフラ整備や税制の簡素化など投資環境の整備が、企業の進出を一層拡大させるカギと思われます。

ここも チェック!

2015年04月08日 インド中銀、政策金利を据え置き
2015年04月06日 「モディノミクス」がまた一歩前進(インド)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。